

Title	編集後記
Sub Title	
Author	中村, 大介(Nakamura, Daisuke)
Publisher	慶應義塾大学独文学研究室
Publication year	2021
Jtitle	研究年報 (Keio-Germanistik Jahresschrift). No. 翻訳特集号 (2021. 5) ,p.139- 139
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN1006705X-20210531-0139">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN1006705X-20210531-0139</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

ここに『研究年報』の翻訳特集号が完成いたしました。『研究年報』では第35号期に翻訳論文を掲載し、さらに第37号期の原稿募集からは、通常の研究論文のみならず、日本において未発表の論文・作品の翻訳テキストの募集を開始しておりました。しかしながら、35号以降に掲載された翻訳テキストは2本のみ、またその内訳はどちらも研究論文の翻訳で、作品の翻訳に関しては1本も掲載されておりました。そこで編集委員は、『研究年報』でも広く翻訳を募集しているということを会員のみなさまに周知できるような企画を立ち上げれば、翻訳を出してみたいと考える会員の方が増え、通常号の『研究年報』においてもより多くの翻訳テキストを掲載することができるようになるのではないかと考えました。

以上の発想をもとに、2019年の夏ごろから今回の翻訳特集号の企画がスタートしました。結果として、4本の翻訳原稿が集まりました。18世紀の文献とドイツの現代小説が1本ずつと、2本の演劇学論文と、多彩なテキストが集まり、『研究年報』の門戸の広さを示すことができたのではないかと考えております。この特集号を手にとっていただいた会員のみなさまのうちから、近い将来に翻訳原稿を『研究年報』に寄稿してみようと考えてくださる方がひとりでも多く出ただければと期待しております。

テキストの翻訳にあたっては、執筆者のみなさまにはしかるべき第三者による翻訳のチェックを受けてから原稿をお寄せいただけるようお願いしております。また、本特集号の企画立ち上げの際・企画推進の過程では、独文の先生方にも相談させていただきました。翻訳チェックに携わっていただいた先生方、企画についての相談にのっていただいた先生方、さらにこの特集号発行に関わっていただいたすべての方にこの場を借りて感謝申し上げます。

(編集委員長：中村大介)